

今号のコンテンツ

- 「マイナビ・レジデントフェスティバル東京会場」への出展のご報告
- 日本医学会連合社会部会若手リトリート 2022
- 第54回日本医学教育学会大会について
- 第22回社会医学サマーセミナー 開催のお知らせ
- 第60回日本医療・病院管理学会学術総会 開催のお知らせ
- 第32回日本産業衛生学会 全国協議会 開催のお知らせ
- 第81回日本公衆衛生学会総会 開催のお知らせ
- 第70回日本職業・災害医学会学術大会 開催のお知らせ
- 第42回日本医療情報学連合大会（第23回日本医療情報学会学術大会）開催のお知らせ
- 事務局からの連絡

「マイナビ・レジデントフェスティバル東京会場」への出展のご報告

社会医学系専門医協会業務執行理事
和田 裕雄

以下の通り、「マイナビ・レジデントフェスティバル東京会場」への出展を致しました。

イベント名：マイナビ・レジデントフェスティバル東京会場

日時：2022年8月21日（日）13:00～17:00

会場：マイナビ・レジデントフェスティバル東京会場

参加者（敬称略、アイウエオ順）：大久保靖司、亀田義人、杉山雄大、和田裕雄

内容：

令和4年度厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）「シームレスな垂直・水平統合を指向した社会医学系領域の医師のキャリアとコンピテンシーの確立」の研究課題の一環で、社会医学領域・公衆衛生学領域の医師のキャリア明示およびコンピテンシー明示のため、令和3年度に引き続き、学部学生への卒後臨床研修の情報提供イベント（マイナビ・レジデントフェスティバル）へ出展しました。

令和3年度には、同様の対面イベントで当日ブースへ来場し説明を受けた学生は43名でそのうち来場登録をした学生は23名でした。別日程で開催したオンラインイベントでは、2時間の開催で合計75名が参加しました。今年度は5月の大阪会場（参加学生35名）への出展に続く2回目の参加となります。今回の参加者（医学生）はこれまでの2回のオンサイト開催に比べて参加者が少ない印象でした。ちょうど8月中下旬のこの時期は、M6はマッチングが一段落する時期で、M5は多くの大学で

月末から病棟実習が始まり、M4はOSCE、CBT等の試験が月末から開始となるため、自宅待機している学生が多いためではないかと推測されました。それでも、約20名の社会医学のキャリアについて興味を持つ学生がブースを訪れ、熱心に話を聞いて、連絡先等を登録してくれました。病院とのマッチングイベントであるにもかかわらず、「医系技官に興味がある」「どうすれば社会医学の道に入ることが出来るのか」等の具体的な質問もあり、本プロジェクトの潜在的需要を体感できる場でした。彼らには、その場での説明に加えて、社会医学系専門医制度のマンガや、キャリアについての資料を配布しました。

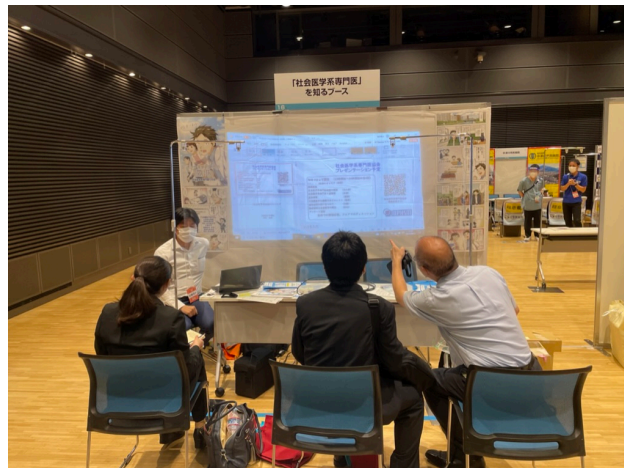
今回の展示会では興味深い出来事がありました。展示開始前に周囲の病院関係者と情報交換し交流する機会がありましたが、全国展開する某病院群の外科の先生より、かなり辛辣かつ感情的なコメントを頂く事例がありました。お話を伺い、また、我々の立場および本展示の目的を説明しながら、「この先生は御自身のキャリアに満足されていない」「こんな筈ではなかったとお考えなのだな」と感じました。社会のAI化・情報化、医学の大きな発展とともに、今後の医療環境は大きく変わると予想されています。是非、若い先生、医学部学生さんには自分のキャリアを自分で描ける、そういう教育を、そして、そういう情報を提供できれば、と考えております。この意味でも、本プロジェクトの目的であるキャリアあるいはコンピテンシーの明示を表面的に理解するのではなく、社会の発展と医学の発展とを見据えた大きな視点で自分のキャリアを考察する深遠な課題であることを痛感致しました。



5月1日 大阪会場の様子



8月21日 東京会場の様子



第 54 回日本医学教育学会大会について

社会医学系専門医協会業務執行理事
和田 裕雄

<報告>

第 54 回日本医学教育学会大会にて「日本医学教育学会・社会医学系専門医協会合同シンポジウム」を開催致しました。本シンポジウムは、厚生労働科学研究費補助金令和元年度・2年度（健康安全・危機管理対策総合研究事業）「公衆衛生等の社会医学系分野で活躍する医師の育成・確保に向けた研究（研究代表 磯博康・日本公衆衛生学会理事長）」で提案があり、日本医学教育学会と当協会とで企画した2回目の合同シンポジウムです。昨年の合同シンポジウムでは、「社会医学系専門医のキャリア形成と医学教育」とのタイトルで、社会医学系領域に目を向けてもらう意図がございましたが、2回目となる今回は、共同作業の可能性を探る意味で「研究」に注目致しました。本格的に教育学の観点から教育を考えると「質的研究」を避けて通ることが出来ません。会場には、教育学の博士課程を卒業された先生方もおられて活発な議論となり、非常に高密度かつ高レベルの議論が展開されました。また、文部科学省の医学教育担当者も出席され御挨拶頂くなど、会場も満員で立ち席が出るほどで、日本医学教育学会のレベルの高さを改めて実感致しました。座長、シンポジスト一同、非常に有意義な議論が出来たことで一致し、是非、来年度からもこの合同シンポジウム継続を目指して提案して行くことで意見が一致しました。

<シンポジウム概要>

シンポジウムタイトル：これからの医学教育学研究について考える

日時：8月5日（金）16:30～18:00

会場：Gメッセ群馬（高崎）

座長の言葉：医学領域における臨床、教育、研究の繋がりは医師のキャリアを考える上で非常に重要な観点である。その中でも、医学教育モデル・コア・カリキュラムの資質・能力において「科学的探究」という文言で表現される研究に関連した能力については、社会の変化や医学も含めた科学の発展に伴い変遷し、これからも変遷していくと予想される。例えば、臨床医学における多くの臓器別専門領域では専門分化が進んだため、研究を実施する際にはより細かくで専門的な知識と経験が求められるようになり、それが求められる研究能力にも影響を与えている。

一方で、医学教育学、社会医学・公衆衛生学は、マクロで広い（そして、ある意味ジェネラルな）領域を対象とする。臓器別専門領域を縦串に例えると、社会医学・公衆衛生学は横串に例えることもできるだろう。この"横串"領域では、疫学や統計学の手法に加えて、近年、質的研究の手法や組織変革につながるアクションリサーチなどの手法も用いられ始めている。古典的な統計学から、EBM、そしてビッグデータと変遷する公衆衛生学・疫学の潮流、また医学教育学領域も含めた社会医学における質的研究

の認知の広まりなどの変化の中、我々は医学生にどのようなことを伝えていくべきなのだろうか？

本シンポジウムでは、上記のような問題意識を基盤に、医学教育学と公衆衛生学の架橋を試み、また社会医学の将来を予測してみたい。昨年度に引き続き、日本医学教育学会と社会医学系専門医協会が協働し、「これからの社会医学」について大いに語り合う「場」を設けたいと考えている。

座長

錦織宏先生（日本医学教育学会、名古屋大学総合医学教育センター）

磯博康先生（社会医学系専門医協会、大阪大学大学院医学系研究科）

演者

1. 和田裕雄（社会医学系専門医協会、順天堂大学大学院）

「医学教育と社会医学(Public Health)の研究：非定量的研究の可能性」

2. 宮地由佳先生（日本医学教育学会、京都大学医学教育・国際化推進センター）

「医学教育領域の研究とその新展開」

3. 錦織宏先生（名古屋大学総合医学教育センター）

「医学教育学の医学における位置づけ：研究手法からの視点」

4. 今中雄一先生（京都大学大学院医学研究科）

「医学教育学と社会医学(Public Health)：研究とプラクティスの共通点」

日本医学会連合社会部会若手リトリート

第2回

社会部会若手リトリート

2022

社会医学の課題と解決に向けた連携のあり方：
未来につながるキャリア

社会部会リトリート実行委員会委員長
 京都大学医学研究科
 原田 浩二

「若手リトリート」は、社会部会加盟学会（19 団体）に所属する若手研究者の相互交流を通じて、加盟学会間の交流を図るとともに、若手研究者の育成とキャリア形成の充実に資するプラットフォームの形成に資するために開催します。

リトリートテーマ：社会医学の課題と解決に向けた連携のあり方：未来につながるキャリア

日時：2022 年 8 月 25 日（木）-26 日（金）

場所：クロス・ウェーブ梅田（大阪）

リトリート 2022 Website：<https://sretreat2022.may-pro.net/>

第 22 回社会医学サマーセミナー開催のお知らせ（全国衛生学公衆衛生学教育協議会主催）

医学生への衛生学公衆衛生学専攻の動機付け、社会医学を念頭に置いた実地臨床医の養成、医学・医療に対する社会的要求への実践的な対応の動機づけを目的に、全国の医学生を対象として平成 7 年度より医学生の夏休み期間に社会医学サマーセミナーを実施しています。

テーマ：Lofty Ambition -北海道で社会医学の未来を語ろう

日時 2022 年 9 月 10 日（土）、11 日（日）

会場：北海道大学医学部百年記念館ほか

問い合わせ先：北海道大学大学院 医学研究院 社会医学分野 公衆衛生学教室 事務局

Tel: 011-706-5068

Email: s3m2022@pop.med.hokudai.ac.jp

第 60 回日本医療・病院管理学会学術総会 開催のお知らせ

2022年9月16日(金)～18日(日)にWEB開催(LIVE配信)にて「第60回日本医療・病院管理学会学術総会」が開催されます。テーマは「これからの医療・病院管理—コロナ禍を経験して—」です。

なお、指導医講習会は、下記の通り、開催されます。

①「2022年改訂版 COI ガイドラインについて」(9月16日(金) 16:50-17:50)

②「社会医学系専門医制度の概要について」(9月17日(土) 9:00-10:00)

上記以外にも、社会医学系専門医の更新のための単位が取得しやすいプログラム構成にしております。詳細は以下のURLをご覧ください。

<https://med-gakkai.jp/60jsha/>

第 32 回日本産業衛生学会 全国協議会 開催のお知らせ

2022年9月29日～10月1日に札幌市において、「第32回日本産業衛生学会 全国協議会」が開催されます。

K単位付与の講習会も予定されていますが、特に「社会医学系専門医の育成における連携と協働」では、これからの社会医学系専門医の育成をテーマに討論が行われます。

日時： 10月1日(土) 14:45～16:45

会場： 札幌コンベンションセンター 第1会場 大ホール A・B

会場：札幌コンベンションセンター 〒003-0006 北海道札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1

学術集会運営担当：

第32回日本産業衛生学会全国協議会 運営事務局

株式会社コングレ 北海道支社内

〒060-0005 北海道札幌市中央区北5条西5丁目2-12 住友生命札幌ビル7階

TEL：011-233-0005 FAX：011-233-0035

E-mail：sanei-kyogikai2022@congre.co.jp

営業時間：月～金 9:30～17:30(土日祝日・年末年始・休業)

詳細は以下のURLをご覧ください。

<http://www.congre.co.jp/sanei-kyogikai2022/index.html>

第 81 回日本公衆衛生学会総会 開催のお知らせ

第 81 回日本公衆衛生学会総会を 2022 年 10 月 7 日（金）から 9 日（日）に山梨県甲府市で開催いたします。本総会のテーマは「公衆衛生イノベーション-原点確認、変革推進-」です。

コロナ禍で開催された京都、東京の総会で培った新たな学会のあり方を学び、オンラインとリアルのそれぞれの利点を生かしたハイブリッド形式で開催いたします。現地に参集することで実現する特別企画を用意いたします。

運営事務局株式会社コンベンションアカデミア内

〒103-0033 東京都文京区本郷 3-35-3 本郷 UC ビル 4 階

TEL: 03-5805-5261 / FAX: 03-3868-2113

Email: jsph81@coac.co.jp

第 70 回日本職業・災害医学会学術大会 開催のお知らせ

2022 年 11 月 5 日（土）・6 日（日）に長野県松本市において、「第 70 回日本職業・災害医学会学術大会」が開催されます。詳細は以下の URL をご覧ください。

<https://www.kwcs.jp/jsomt70/>

※開催形式は、新型コロナウイルス感染症拡大の動向を考慮しながら随時関係者間で協議を行っております。8 月下旬頃を目途に、上記ホームページにて方針をご案内予定です。

第 42 回医療情報学連合大会（第 23 回日本医療情報学会学術大会）開催のお知らせ

第 42 回医療情報学連合大会（第 23 回日本医療情報学会学術大会）（大会長：小笠原克彦（北海道大学大学院））を 2022 年 11 月 17 日から 20 日の日程で、北海道札幌市の札幌コンベンションセンターにて開催します。大会テーマは「社会基盤としての医療情報の役割」です。ハイブリッド形式を予定しています。本大会の中で社会医学系専門医の共通講習を行います。詳細は、大会プログラムが確定した際に通知します。

学会事務局： 北海道情報大学内（担当：佐瀬雄治）

〒069-8585 北海道江別市西野幌 59-2

E-mail : office@jcmi42.org

事務局からのお知らせ

【会員専用ページをご確認ください】

会員専用ページが今年の3月に開設いたしました。

会員専用ページ：<http://shakai-senmon-i.umin.jp/specialist/memberpage/>

会員専用ページにログイン後、年間登録料の納入状況の照会、住所・所属先等の登録情報更新が可能です。転居・異動等の際は会員専用ページにアクセスし情報の更新をお願いいたします。

【ログイン ID 問い合わせ、請求書、領収書発行依頼先】

社会医学系専門医協会 事務局

E-mail：jbphsm@asas-mail.jp

FAX：03-5981-6012

【社会医学系専門医・指導医 認定更新に関して】

【2022年度版】専門医・指導医の更新について（更新手続き・今後のスケジュールのご案内）が公開されております。

<http://shakai-senmon-i.umin.jp/news/2527/>

今年度は昨年度から提出する書類の様式が変更になっております。昨年度更新を延長されている方も新しい書式での提出となります。

【更新に関するお問い合わせ先】

社会医学系専門医協会 事務局

E-mail：jbphsm@asas-mail.jp

FAX：03-5981-6012

※ご質問の内容によっては認定委員会で審議されますのでお時間を頂戴する場合がございます。